

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
31-28	中学校	社会科	歴史的分野	第1・2・3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
46 帝国	歴史-707	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き		

1 編修の基本方針

▶教育基本法第2条に関する総合的な基本方針

～人々の多様性を踏まえた社会の成長を考えていける教科書～

- 時代像イラストなどを活用した導入の工夫により、学びに向かう意欲を喚起
- 言語活動の充実により、粘り強く真理を求める資質を育成
- 当時のさまざまな立場や選択を踏まえて考察する活動を多数設け、社会の多様性へのまなざしを備えた正義感や責任感を涵養
- さまざまな人々の姿を描き、自他の敬愛と協力を重んじる精神を涵養
- 文化史・地域史・社会史の充実により、日本の伝統と文化への深い理解を促進

以下、該当する具体的な工夫箇所は、教科書のもくじに加えて、教科書本体巻頭5～6「この教科書の学習のしかた」をあわせてご覧ください。

▶教育基本法第2条第1号に関する基本方針

①時代像イラストなど導入の工夫により、学びに向かう意欲を喚起

- 節の冒頭に、紙面全体にわたる大きなイラストから各時代を概観する特設「タイムトラベル」を設けています(p.24ほか12か所)。イラストを読み解く活動から、前の時代と比較したり疑問点を発見したりして、当時の社会への興味・関心をふくらませ、学びに向かう意欲を喚起します。
- 学習の冒頭となる第1部第1節では、「タイムトラベル」へといざなうスザク号と生徒のキャラクターによるマンガ形式を活用し、歴史学習への意欲を喚起します。
- 最終単元「多面的・多角的に構想する 未来に向けて」でもマンガ形式を活用して、未来を構想する意欲を喚起することで、公民的分野への導入としての効果もねらっています。

②見通し・振り返り活動の充実により、主体的な学びを促進

- 巻頭には「この教科書の学習のしかた」を設け、学習の見通し・振り返り活動の基本的な流れを示したほか、各特設やコラムの学習上の位置づけを丁寧に紹介することで、自主的・自発的な学習活動がしやすくなるよう配慮しています。
- 具体的に各時代を学んでいく第2部の冒頭p.13には、「歴史的分野の学習の全体像を見通そう」を設け、日々の学習が、教科全体および分野全体の学習目標に照らしてどのように位置づけられるのか、生徒自身も見通しを持てるよう配慮しています。

- 章・節・各本文ページそれぞれの冒頭に、単元を貫く問いを設けています（「章の問い」「節の問い」「学習課題」）。これらにより、生徒自身が日々の学習内容に見通しを持てるようにしています。
- それらの問いの受け皿としての課題も、章・節・各本文ページの末尾に設けています（「章の学習を振り返ろう」「節の問いを振り返ろう」「確認しよう」「説明しよう」）。これらにより、生徒自身が学習の振り返り活動を行えるようにしています。

③言語活動の充実により、粘り強く真理を求める資質を育成

- 歴史学習の基本的な約束事を学ぶ第1部の末尾 p.12 には、「歴史的な見方・考え方を働かせよう」を設けています。歴史的な「見方・考え方」について、概観できるようにしています。
- 「章の学習を振り返ろう」（6か所）の右ページでは、歴史的な「見方・考え方」を働かせた、各時代の特色に対する論理的な説明に取り組みます。この活動を通じて、安易な解釈に妥協しない、粘り強く真理を追究する態度と資質を養えます。

▶教育基本法第2条第2号に関する基本方針

①歴史上で活躍した人物の生きていく態度から、自主・自律の精神を涵養

- 「人物コラム」を p.189 など 46 か所（49名）で設けています。歴史上で活躍した人物の具体的なエピソードを通じて、自主・自律した姿勢と努力と、そこから生まれた個人の創造性が、社会の変化につながり得ることを実感できます。

②技能習得コーナーの充実により、情報分析能力を育成

- 「技能をみがく」コーナーを、12か所設けています。これにより、史料読解や聞き取りからの情報収集や多面的・多角的な分析の力が養えます。
- 本文ページ中の各種写真・統計類においても、「資料活用」の問いを設けており、習得した技能を、生徒自身が日頃からみがいていけるようにしています。

▶教育基本法第2条第3号に関する基本方針

①当時のさまざまな立場や選択を踏まえて考察する活動を多数設け、社会の多様性へのまなざしを備えた正義感や責任感を涵養

- 主体的・対話的で深い学びの実現をねらった活動を行う特設「多面的・多角的に考えてみよう」を、3か所設けています（p.144-145, 188-189, 230-231）。社会に見られた課題に対する当時のさまざまな立場や選択を通して、多面的・多角的な考察を深めます。これにより、人々のさまざまな立場とその多様性を踏まえた社会の成長を考えるとともに、自他を敬愛した公共の精神に基づく正義感や責任感が養えます。
- 上記の編集方針については、p.12 「はじめに～さまざまな立場や多様性を踏まえた未来のために～」において、具体的に生徒に語りかけています。
- 異なる考えや対立する考えを両論併記した資料は、ほかにも随所で紹介しています（p.180, 252 など）。

②さまざまな人々の姿を描き、自他の敬愛と協力を重んじる精神を涵養

- 本文（p.84-85ほか）や、先述の特設「タイムトラベル」では、為政者だけではなく、一般の人々の姿も積極的に描いています。生徒に身近な生活や文化の目線で歴史をとらえられるようにするとともに、過去のさまざまな人々の営み、努力や工夫の上に歴史がつけられてきたことを、感じ取れるようにしました。

③社会の改善に向けた歴史上の取り組みを豊富に掲載し、公共の精神を涵養

- 歴史上の人々が連携・協働して課題の解決に取り組む姿を紹介するコラム「未来に向けて」を43か所で設けています。コラムを通して社会的な正義感・責任感や公共の精神を養えます。

④世論の影響について多面的に記述し、主体的な社会参画の重要性を示唆

- 第2部第5章（近代後半）では、世論の影響から、社会の公正さが拡大された面と、戦争に向かう動きが加速された面との双方を、丁寧に記述しています。こうしたことへの理解から、周囲の空気に安易に流されず、多面的・多角的な考察のもと主体的に社会参画していく重要性を意識していけるよう、配慮しています。

▶教育基本法第2条第4号に関する基本方針

①人権・平和や環境を主題とする題材を積極的に扱い、生命や自然を尊ぶ態度を涵養

- コラム「未来に向けて」では、人権・平和の尊重や自然環境の保全について積極的に取り上げています。自分を取り巻く他者と、さらにそれらを取り巻くこの世界の尊さを実感し、倫理感が養えるよう配慮しています。

▶教育基本法第2条第5号に関する基本方針

①文化史の充実により、日本の伝統と文化を尊重する態度を涵養

- 各時代の文化史（p.52-55 など）は、原則として1単元4ページにわたる充実した構成を取っています。文化財などの写真を豊富に掲載したほか、本文では文化の担い手となった人々の努力や工夫を描いています。

②地域史・社会史の充実により、日本の伝統と文化への深い理解を促進

- 中央とは異なる地域の姿を描いたコラム「地域史」を、p.193 など18か所で設けています。日本の伝統や文化への理解を多面的・多角的に深めます。
- 琉球やアイヌの人々の歴史や文化については、学習指導要領の指定も踏まえ、本文および特設で重点的に扱っています（p.118-121 など）。国会で審議されている内閣提出の法案「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法」の内容も踏まえ、丁寧な記述に努めています。
- 当時の社会の様子について掘り下げる特設「歴史を探ろう」を、12か所で設けています。日本の伝統や文化の背景について、理解を多面的・多角的に深めます。

③世界史の充実により、他国を尊重する態度を涵養

- 紙面全体にわたるワイドなイラスト地図を、歴史の転換点となる時代に設けています（p.42-43, 98-99, 156-157）。イラストを駆使して外国の歴史や文化に興味・関心が持てるように工夫したほか、歴史の転換点となった国際情勢の理解の促進にも配慮しています。
- 古代文明・宗教・民主政治の来歴・近代化などを、本文に適度な量で盛り込みました。分かりやすい記述や、特に宗教（p.22-23）などは偏見を与えない記述とすることを、重視しました。

④国際法に則った日本の取り組みを紹介し、国際社会を尊重する姿勢を涵養

- p.266-267では、領土画定の経緯について、丁寧に解説しています。p.179, 180では、国際法と領土画定の関係についてコラムで解説しています。これらにより、開国以降の日本政府の取り組みが、国際法に則ったものであることが理解できます。

② 対照表

図書の構成	特に意を用いた点や特色	該当箇所
日本各地の伝統行事と祭り	日本の伝統と文化を尊重する態度を養うとともに、各地の伝統行事や祭りから日本の文化の多様性にも気付かせ、多面的・多角的な学習へと導きます。 第5号	巻頭 1
第1部 歴史のとらえ方と調べ方	歴史学習の基本的な約束事を学ぶ学習の冒頭は、キャラクターによるマンガ形式で、学びへの意欲を喚起しています。 第1号	2～5
	歴史の調べ方についての「技能をみがく」コラムを充実させ、情報分析の技能を育成し、自主・自律の精神を養えるようにしました。 第2号	2～11
	身近な地域の歴史を調べる学習では、地域の偉人を事例として取り上げ、郷土愛を養えるようにしました。 第5号	6～11
	「はじめに」では、人類が蓄積してきたよりよい社会に向けた取り組みの経験から学ぶ意義や、さまざまな立場や人々の多様性を踏まえた社会の成長を考えていくことを、生徒に語りかけています。 第3号	12
第2部 歴史の大きな流れと時代の移り変わり	各時代を概観するワイドなイラスト「タイムトラベル」では、前の時代と比較したり疑問点を発見したりして、当時の社会への興味・関心をふくらませます。例えば、p.34の奈良時代の様子とp.80の室町時代の様子について、色の付いた衣服を着ているのは誰かを比較することから、民衆の力の高まりへの気付きが生まれます。 第1号	13, 24, 25, 34, 48, 58, 80, 102, 122, 168, 218, 242, 256

第1章 古代国家の成立と東アジア	古代の文明や宗教について、分かりやすい本文や、偏見を与えない記述にするよう努め、他国の伝統文化を尊重する態度を養えるようにしました。 第5号	16～23
	古代の日本の国づくりについて、為政者だけでなく、庶民からもとらえられるように配慮しており、社会の形成に対する考えを深められます。 第5号	24, 25, 34, 48, 36～41, 50～51
	唐とイスラム帝国、シルクロードに関する本文記述を充実させ、ワイドなイラスト地図も設けて、外国の歴史や文化に興味・関心を持てるよう配慮したほか、歴史の転換点となった国際情勢の理解の促進に配慮しています。 第5号	42～43
	文化の扱いを充実させ、天皇や貴族が生み出した文化への理解を深めることで、季節を愛でる感覚など日本の伝統に対する教養と愛着を育めるよう配慮しました。 第5号	44～47, 52～55
第2章 武家政権の成長と東アジア	中世の「自分たちのことは、自分たちの力で解決する」という考え方の形成と、それに伴う人々のヨコの結びつきの成長について、丁寧に記述したことで、自他の敬愛に基づく主体的な社会参画への態度を養えるようにしました。 第3号	58, 80, 60～61, 84～85
	文化の扱いを充実させ、武士や僧侶などが生み出した文化への理解を深めることで、日本家屋の造りなど日本の伝統に対する教養と愛着を育みやすくしました。 第5号	66～69, 88～91
	琉球とアイヌの人々の歴史を本文で充実させたほか、コラム「地域史」を各所で設けたことで、日本の伝統文化への理解を多面的・多角的に深められるようにしました。 第5号	72, 76～79
	コラム「未来に向けて」などで、人権に関わる内容を扱い、様々な立場の異なる人々への理解を促すことで、生命や個人の価値を尊ぶ態度を養えるようにしました。 第4号	82～83, 89～91
第3章 武家政権の展開と世界の動き	ヨーロッパの変革と海外進出に関する本文記述を充実させ、ワイドなイラスト地図も設けて、歴史の転換点となった国際情勢の理解の促進に配慮しています。また、ヨーロッパの発展に際してのイスラム文明からの影響も丁寧に記述し、文化の成り立ちへの多面的・多角的な理解を促しています。 第5号	94～101
	社会に安定と平和をもたらした武家政権の政策について、さまざまな面から丁寧に記述し、社会の在り方を多面的・多角的に考察できるようにしています。 第3号	102, 112～117, 122～129, 134～137
	文化の扱いを充実させ、大名に加え町人や庶民が生み出した文化への理解を深めることで、識字率の高さなど日本の伝統に対する教養と愛着を育みやすくしました。 第5号	108～111, 132～133, 138～141
	特設「歴史を探ろう」で北前船による日本列島各地の結びつきや江戸の暮らしを扱い、コラム「地域史」で各藩の様子を扱ったほか、琉球とアイヌの人々の歴史を特設も設けて充実させたことで、日本の伝統文化への理解を多面的・多角的に深められるようにしました。 第5号	118～121, 128, 130～131, 136, 142～143
	コラム「未来に向けて」で、江戸のリサイクルを扱うなど、自然との共生を考えるヒントとなるようにしました。 第4号	143
	特設「多面的・多角的に考えてみよう」で赤穂浪士の事件を扱い、裁定に際してのさまざまな意見への考察から、さまざまな立場や考え方へのまなざしを備えた正義感や責任感を養えるよう配慮しました。 第3号	144～145
第4章 近代国家の歩みと国際社会	欧米諸国の社会の「近代化」や「近代国家」の建設について、丁寧にいかみくदैて解説したほか、ワイドなイラスト地図も設けて、歴史の転換点となった国際情勢の理解の促進に配慮しています。 第5号	148～157
	「人物コラム」を豊富に設け、日本の「近代化」や諸問題に取り組んだ人物の努力や工夫を描写することで、個人の創造性、自主・自律、職業と勤労を重んじる態度を養えるようにしました。 第2号	165, 181, 182
	「近代化」による社会の変化について、文明開化と都市・農村、北海道開拓とアイヌの人々、殖産興業と地方振興などの面を、特設も設けて充実して扱うことで、日本の伝統文化への理解を多面的・多角的に深められるようにしました。 第5号	168, 170～177, 180～183, 198～203
	領土の画定について、経緯を丁寧に記述し、それに関する開国以来の日本政府の取り組みが国際法に則ったものであることが理解できるようにしました。なお、領土の画定の経緯の詳細は、領土問題の発生に至る経緯と併せて、第6章のp.266-267で特設にまとめて通覧できるようにしています。 第5号	178～181, 266～267
	特設「多面的・多角的に考えてみよう」などで、異なる考えや対立する考えを併記した資料を各所で扱うことで、多面的・多角的な考察のもと、さまざまな立場を踏まえた社会の発展を考えていく態度を養えるよう、配慮しました。 第3号	180, 188～189

	文化の扱いを充実させ、「近代化」が生み出したこの時代の文化への理解を深めることで、「標準語」など国民共通の習慣に対する理解を深められるようにしました。 【第5号】	204～207
第5章 二度の世界大戦と日本	コラム「未来に向けて」を豊富に設け、さまざまな差別の撤廃など社会的な課題の解決に、実社会の人々が取り組む姿の描写を充実させたことで、社会的な正義感・責任感や公共の精神を養えるようにしました。 【第3号】	215, 217, 223, 235, 245
	世論の影響から、社会の公正さが拡大された面と、戦争に向かう動きが加速された面との双方を、本文で丁寧に記述することで、周囲の空気に安易に流されず、多面的・多角的な考察のもと主体的に社会参画していく重要性を意識していけるよう、配慮しています。 【第3号】	218, 220～223, 232～239, 242
	文化の扱いを充実させ、大衆社会が生み出したこの時代の文化への理解を深めることで、都市化や余暇活動などにつながる日本の伝統文化に対する、教養と愛着を育めるようにしました。 【第5号】	218, 224～229
第6章 現在に続く日本と世界	特設「多面的・多角的に考えてみよう」などで、異なる考えや対立する考えを併記した資料を各所で扱い、さまざまな立場や人々の多様性を踏まえた社会の発展について、多面的・多角的な考察ができるよう配慮しました。 【第3号】	230～231, 234, 252
	不景気や戦争のなかでの人々の暮らしの様子や、戦争の惨禍について、丁寧に描写することで、国際協調に寄与する態度を養いやすくしました。 【第5号】	238～253, 242
	文化の扱いを充実させ、高度経済成長を背景に生み出された文化への理解を深めることで、豊かで安全な暮らしにつながる日本の伝統文化に対する教養と愛着を育めるようにしました。 【第5号】	256, 274～277
多面的・多角的に構想する未来に向けて	人権や平和など、現代が抱える諸課題に関するコラムを各所に設け、より良い未来を創造するための知識と態度を育めるようにしました。 【第3号】	258, 265, 269, 273, 281, 283
	多面的・多角的に考える学習活動に取り組むことで、さまざまな立場や考え方のまなざしを備えた社会形成の態度を養えるよう配慮しました。 【第3号】 冒頭の第1部と同様にマンガ形式も活用して、歴史の学習を公民の学習へと橋渡ししていく導入としての効果もねらっています。 【第1号】	286～287

③ 上記の記載事項以外に意を用いた点や特色

① すべての生徒に読みやすい表現の工夫

- 特別支援教育の専門家からの助言を参考に、すべての生徒が読み取りやすい表現となるよう配慮しています。
- 文字は、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用しました。
- 見開きにおけるデザインや、グラフ・地図といった資料において、色覚に特性のある生徒でも識別しやすい色を使うよう配慮しました。また、折れ線グラフなどは、線種を変えたりするなどの工夫を行い、色以外の情報からも読み取れるよう工夫しました。
- 学習者用デジタル教科書を発行し、特別支援教育に活用できる機能を付加します。

② 二次元コードの利用で、生徒の理解や自学自習を支援

- 二次元コードの利用で、教科書に掲載している資料の一部を、タブレットパソコンなどで閲覧できます。例えば、拡大して見られる「タイムトラベル」イラストや、一覧できる巻末年表などを収録し、すべての生徒にとっての理解しやすさを向上させています。
- 各章冒頭の二次元コードでは、学習内容に関連する動画を、章末特設「章の学習を振り返ろう」では、知識を確認する問題の解答を閲覧でき、自学自習を支援します。

③ 教科書に使う用紙の軽量化

- 持ち運びの負担軽減のため、製紙会社と研究を重ね、用紙の1㎡あたりの重量を現行比で約5%軽量化しました。

④ 環境に優しい素材と堅牢な造本

- 用紙には古紙を入れるとともに、環境に優しいフレッシュパルプを使用しています。一方で写真がきれいに見えるよう、白くて裏映りが少ないものを使用しています。
- インクには、国産米の米ぬかからつくられるライスインキを使用しています。
- 堅牢な造本方式を採用し、使用期間の間、壊れることがないようにしています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
31-28	中学校	社会科	歴史的分野	第1・2・3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
46 帝国	歴史-707	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き		

① 編修上特に意を用いた点や特色

▶ 学習指導要領に関する総合的な基本方針

～人々の多様性を踏まえた社会の成長を考えていける教科書～

- 導入の工夫、見通し・振り返り活動や、情報分析の技能習得の充実により、「主体的な学び」を実現
- さまざまな人々の営みや立場の描写により、「対話的な学び」を実現
- 言語活動やさまざまな立場や選択を踏まえて考察する活動の充実により、「深い学び」を実現
- ワイドな時代像イラストを活用した時代の特色の比較を促進
- 文化史・社会史・地域史の充実により、互いの文化を尊重し合う態度を涵養

以下、該当する具体的な工夫箇所は、教科書のもくじに加えて、教科書本体巻頭5～6「この教科書の学習のしかた」をあわせてご覧ください。

▶ 総則－第1「中学校教育の基本と教育課程の役割」に関わる特色

◎ 「主体的・対話的で深い学びの実現」の全編にわたる重視

- (総則－第3についての箇所にて具体的に述べます)

▶ 総則－第2「教育課程の編成」に関わる特色

① 小学校での既習事項からの橋渡しに配慮した導入

- p.2～3「歴史をたどろう」や、節の冒頭に設けた時代を概観するイラスト「タイムトラベル」では、小学校で学習した人物や既習事項からの橋渡しに配慮しています。

② 高等学校新科目「歴史総合」にも通底する「見方・考え方」や「多面的・多角的な考察」の充実

- 特設「章の学習を振り返ろう」や「多面的・多角的に考えてみよう」など、歴史的分野で鍛えていく「見方・考え方」の活用機会や、さまざまな立場を踏まえ「多面的・多角的に考察」していく機会を重視して設けています(詳細は総則－第3にて後述)。この「見方・考え方」や「多面的・多角的な考察」は、高等学校で新たに設置される科目「歴史総合」にも通底するものであり、高等学校への円滑な接続が期待できます。

▶ 総則－第3「教育課程の実施と学習評価」に関わる特色

A) 「主体的な学び」を実現するための工夫

①学習の全体像や学習活動の位置づけの明示

- 巻頭には「この教科書の学習のしかた」を設け、学習の見通し・振り返り活動の基本的な流れを示したほか、各特設やコラムの学習上の位置づけを丁寧に紹介することで、自主的・自発的な学習活動がしやすくなるよう配慮しています。
- 具体的に各時代を学んでいく第2部の冒頭 p.13 には、「**歴史的分野の学習の全体像を見通そう**」を設け、日々の学習が、教科全体および分野全体の学習目標に照らしてどのように位置づけられるのか、生徒自身も見通しを持てるよう配慮しています。

②導入の工夫

- 節の冒頭に、紙面全体にわたる大きなイラストから各時代を概観する特設「**タイムトラベル**」を設けています (p.24 など12か所)。読み解き活動から、前の時代と比較したり疑問点を発見したりして、学習の動機づけや方向付けを支えます。
- 学習の冒頭となる**第1部第1章**では、「タイムトラベル」へといざなうスザク号と生徒のキャラクターによるマンガ形式を活用し、歴史学習への意欲を喚起します。

③言語活動を備えた見通し・振り返り活動の充実

- 章・節・各本文ページそれぞれの冒頭に、単元を貫く問いを設けており（「**章の問い**」「**節の問い**」「**学習課題**」）、生徒が学習の見通しを持てるようにしています。
- それらの問いの受け皿としての課題も、章・節・各本文ページの末尾に設けており（「**章の学習を振り返ろう**」「**節の問いを振り返ろう**」「**確認しよう**」「**説明しよう**」）、言語活動を備えた学習の振り返りの場面も着実に備えています。

④情報活用技能の習得コーナーの充実

- 「**技能をみがく**」コーナーを、12か所設けています。これにより、史料読解や聞き取りからの情報収集や多面的・多角的な分析の力が養えます。
- 本文ページ中の各種写真・統計類においても、「**資料活用**」の問いを設けており、習得した技能を、生徒自身が日頃からみがいていけるようにしています。

B)「対話的な学び」を実現するための工夫

⑤さまざまな人々の営みや連携・協働している姿を描写

- 本文 (p.84-85 ほか) や、先述の「タイムトラベル」では、為政者だけではなく、一般の人々の姿も積極的に描きました。生徒に身近な生活や文化の目線で歴史をとらえられるようにするとともに、過去のさまざまな人々の営み、努力や工夫の上に歴史がつくられてきたことを、感じ取れるようにしました。
- コラム「**未来に向けて**」を43か所で設けています。当時の人々が連携・協働して社会的な課題の解決に取り組む姿を描いています。
- 異なる考えや対立する考えを**両論併記**した資料を紹介しています (p.180, 252 など)。

C)「深い学び」を実現するための工夫

⑥歴史的な「見方・考え方」に基づく、論理的な言語活動の充実

- 歴史学習の基本的な約束事を学ぶ第1部の末尾 p.12 には、「**歴史的な見方・考え方を働かせよう**」を設けています。歴史的な「見方・考え方」について、概観できるようにしています。
- 章末特設「**章の学習を振り返ろう**」(6か所)の右ページでは、歴史的な「見方・考え方」を働かせた、各時代の特色に対する論理的な説明に取り組みます。この活動を通じて、安易な解釈に妥協しない、粘り強く考察を深める態度と資質を養えます。

⑦当時のさまざまな立場や選択を踏まえて考察する活動を充実

- 主体的・対話的で深い学びの実現をねらった活動を行う特設「**多面的・多角的に考えてみよう**」(3か所：p.144-145, 188-189, 230-231)、および「**多面的・多角的に構想する 未来に向けて**」(最終単元)を設けています。社会に見られた課題に対する当時のさまざまな立場や選択を通して、多面的・多角的な考察を深めます。

これにより、人々のさまざまな立場とその多様性を踏まえた社会の成長を構想していくことを促し、公民的分野や高等学校の歴史総合につながります。

▶ 総則－第 4 「生徒の発達の支援」に関わる特色

① インクルーシブ教育の考え方に則った表現面への配慮

- 特別支援教育の専門家からの助言を参考に、すべての生徒が読み取りやすい表現となるよう配慮しています。
- 文字は、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォント（UD フォント）を使用しました。
- 見開きにおけるデザインや、グラフ・地図といった資料において、色覚に特性のある生徒でも識別しやすい色を使うよう配慮しました。また、折れ線グラフなどは、線種を変えたりするなどの工夫を行い、色以外の情報からも読み取れるよう工夫しました。
- 学習者用デジタル教科書を発行し、特別支援教育に活用できる機能を付加します。

② 二次元コードの利用で、生徒の理解や自学自習を支援

- 二次元コードの利用で、教科書に掲載している資料の一部を、タブレットパソコンなどで閲覧できます。例えば、拡大・比較できるイラスト「タイムトラベル」や「タイムトラベル年表」、全時代を一覧できる巻末年表などを用意し、すべての生徒にとっての理解のしやすさを向上しています。
- 各章冒頭では、学習内容に関連する動画を、章末特設「学習を振り返ろう」では、知識を確認する問題の解答を、二次元コードから閲覧でき、自学自習を支援します。

③ 教科書に使う用紙の軽量化により、自学自習を支援

- 持ち運びの負担軽減のため、製紙会社と研究を重ね、用紙の1㎡あたりの重量を現行比で約5%軽量化しました。

▶ 総則－第 5 「学校運営上の留意事項」に関わる特色

◎ 地域社会と連携・協働する態度を涵養する、歴史の調べ方単元

- 第1部第2節「歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた」では、地域社会の方々の協力を得て調査を進める機会を設けており、将来の連携・協働に向けた態度を養えます。

▶ 総則－第 6 「道徳教育に関する配慮事項」に関わる特色

◎ 歴史学習の社会的・人間的な意義を、生徒に語りかける「はじめに」

- 総合的な編集方針について、p.12「はじめに～さまざまな立場や多様性を踏まえた未来のために～」では、情報化社会のなかで、自主・自律した精神を保ち、人々の多様性を踏まえた社会の成長を考えていく、そうした人間としての在り方に、歴史の学びが役立つことを具体的に生徒に語りかけています。

▶ 社会科の目標・歴史的分野の目標に関わる特色

A) 「知識・技能の習得」における工夫

① 時代の特色の比較を行いやすくする、ワイドな時代像イラスト

- 先述の、時代を概観する大きなイラスト「タイムトラベル」では、各時代の比較を意識して、記載要素に一定の基準を設けています。赤色の■～■で、特に注目すべき六つの記載要素を目立たせていますが、これらは、政治・経済・文化の各観点からバランス良く取り上げています。
- そのうえで、特に効果的に比較できる記載要素については、紙面の右上に「前の時代と比べて特色を考えよう」というコーナーを設けて明示しています。さらに、章末特設「章の学習を振り返ろう」の左側ページ下段でも、「タイムトラベルを眺め直そう」というコーナーを設けて、効果的に比較できるポイントを示しています。これらは、時代の変化をとらえるうえで、鍵となる効果を発揮します。
- タイムトラベルは、イラストの左端と上端に索引記号を付しており、本文や資料との関連が分かるようにしています。これらの使い方は、p.13「タイムトラベルの学習のしかた」および巻頭4「本文ページの学習のしかた」にて、説明しています。

② 世界史の画期となった時代情勢をイメージできるワイドなイラスト地図

- 紙面全体にわたるワイドなイラスト地図を、世界史の画期となった時代に設けています (p.42-43, 98-99, 156-157)。イラストを駆使して外国の歴史や文化に興味・関心が持てるように工夫したほか、世界の歴史の画期となった国際情勢の動きに対する理解の促進にも配慮しています。

B) 「思考力・判断力・表現力の育成」における工夫

③時代の特色の論理的な説明を支援する「章の問い」の工夫

- 「章の問い」の文言は、時代の特色を論理的に説明するうえで、ヒントとなる切り口を投げかける性質のものとなるよう配慮しました。章末特設「章の学習を振り返ろう」において、中学生が時代の特色の説明にいきなり挑むのは、難易度が高いと考え、3段階のステップを設けています。

C) 「学びに向かう力・人間性の涵養」における工夫

④互いの文化を尊重し合うための、文化史・社会史・地域史の充実

- 各時代の文化史 (p.52-55 など) は、原則として1単元4ページの充実した構成にしています。文化財などの写真を豊富に掲載したほか、本文では文化の担い手となった人々の努力や工夫を描くようにしています。
- 古代文明・宗教・民主政治の来歴・近代化などを、適度な量で盛り込みました。かみくだいた記述や、偏見を与えない丁寧な記述とすることを、重視しました。
- 当時の社会の様子について掘り下げる特設「歴史を探ろう」を、12か所で設けています。日本の社会や文化の成り立ちについて、理解を多面的・多角的に深めます。
- 中央とは異なる地域の姿を描いたコラム「地域史」を、p.193 など18か所で設けています。日本の伝統や文化への理解を多面的・多角的に深めます。
- 琉球やアイヌの人々の歴史や文化については、本文と特設で重点的に扱っています (p.78-79, 118-121, 180-183, 227, 250-251, 281 など)。国会で審議されている内閣提出の法案「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法」も踏まえ、丁寧な記述に努めています。

⑤近代の民主政治の様子を丁寧に記述

- 第2部第5章 (近代後半) では、世論の影響から、社会の公正さが拡大された面と、戦争に向かう動きが加速された面との双方を、丁寧に記述しています。こうしたことへの理解から、周囲の空気に安易に流されず、多面的・多角的な考察のもと主体的に社会参画していく重要性を意識していけるよう、配慮しています。

2 対照表

図書の構成	学習指導要領の内容	該当箇所	配当数	特に工夫して扱った学習指導要領の内容およびそれに該当する図書の内容
第1部 歴史のとらえ方と調べ方	A (1) (2)	1～ 12	13	(1) アイ 小学校で学んだ歴史上の人物や出来事のイラストや、親しみのわくマンガ方式を用いて、興味関心を持って時代の移り変わりや時代区分の学習ができます。 (2) アイ 世界とのつながりのある事例を調査することを通して、年表や地図に情報をまとめ、それを活用して表現する技能を身に付けられます。また、世界とのつながりを意識した多面的・多角的に歴史を考察をする視点を身に付けられます。 (1) イ (2) イ 「歴史的な見方・考え方を働かせよう」を設け、歴史的分野の全体を通して鍛えていく「見方・考え方」について、概観できるようにしています。
第2部 第1章 古代国家の成立と東アジア	B (1)	14～ 57	19	ア (ア) (エ) 文明と宗教のおこりについて、p.16-23 で丁寧に扱ったうえで、奈良時代の文化の国際性について、p.42-47 でワイドな地図とともに幅広い視点からとらえており、文化の形成過程を着実に理解できます。 イ 「タイムトラベル」を、例えば弥生時代と奈良時代における建造物の違いに着目させることで、時代の特色比較に気付きが得られます。 イ 章の問いを、イ (ア) で挙げられている各事象の相互の関連をとらえるうえで効果的な視点である、「国を成立させる要因」に設定することで、古代の特色への多面的・多角的な考察に導いています。

第2章 武家政権の成長と東アジア	B (2)	58 ~ 93	15	<p><u>ア (イ)</u> 琉球の国際的な役割について、p.84-85の本文・資料を充実させるとともに、琉球の文化については、第3章 p.126-127でもアイヌの人々の文化と併せて充実した扱いをしています。</p> <p><u>イ</u> 「タイムトラベル」を、例えば古代と中世における民衆の服装の違いに着目させることで、時代の特色比較に気が付けられます。</p> <p><u>イ</u> 章の問いを、イ (ア) で挙げられている各事象の相互の関連をとらえるうえで効果的な視点である、“人々の結びつきの目的”に設定することで、中世の特色への多面的・多角的な考察に導いています。</p>
第3章 武家政権の展開と世界の動き	B (3)	94 ~ 147	21	<p><u>ア (ア)</u> ヨーロッパ人の動きについて、第1節では、変革の背景としてのイスラム商人の影響、アメリカ開発の世界史的意義、アジア貿易への参入における限界などを、ワイドな地図とともに、丁寧に解説しています。</p> <p><u>イ</u> 「タイムトラベル」を、例えば中世と近世における街道の整備状況の違いに着目させることで、時代の特色比較に気が付けられます。</p> <p><u>イ</u> 章の問いを、イ (ア) で挙げられている各事象の相互の関連をとらえるうえで効果的な視点である、“安定した全国統治の成立要因”に設定することで、近世の特色への多面的・多角的な考察に導いています。</p>
第4章 近代国家の歩みと国際社会	C (1)	148 ~ 209	26	<p><u>ア (イ)</u> 当時の複雑な国際情勢について、p.156-161でワイドな地図とともに丁寧に解説したうえで、領土画定の経緯について、p.178-181と第6章 p.266-267で日本政府の国際法に則った立場を丁寧に解説しています。</p> <p><u>イ</u> 「タイムトラベル」を、例えば近世と近代における武装した人々の違いに着目させることで、時代の特色比較に気が付けられます。</p> <p><u>イ</u> 章の問いを、イ (ア) で挙げられている諸事象の相互の関連をとらえるうえで効果的な視点である、“[近代化]による政治と社会の変化”に設定することで、近代前半の特色への多面的・多角的な考察に導いています。</p>
第5章 二度の世界大戦と日本		210 ~ 255	19	<p><u>ア (オ) (カ)</u> 国民の政治的自覚の高まりや、軍部の台頭について、第5章では、世論の影響から、社会の公正さが拡大された面と、戦争に向かう動きが加速された面との双方を、丁寧に解説しています。</p> <p><u>イ</u> 「タイムトラベル」を、例えば明治時代と大正時代における国民の政治参加の違いに着目させることで、時代の特色比較に気が付けられます。</p> <p><u>イ</u> 章の問いを、イ (ア) で挙げられている諸事象の相互の関連をとらえるうえで効果的な視点である、“[近代化]を経て世論が求めたもの”に設定することで、近代後半の特色への多面的・多角的な考察に導いています。</p>
第6章 現在に続く日本と世界	C (2)	256 ~ 285	13	<p><u>イ (ア) (イ)</u> 「タイムトラベル」を、例えば戦中と戦後における子どもたちの様子の違いに着目させることで、時代の特色比較に気が付けられます。</p> <p><u>イ (ア) (イ)</u> 章の問いを、イ (ア) で挙げられている各事象の相互の関連をとらえるうえで効果的な視点である、“現代の日本社会を形成した画期となる出来事”に設定することで、現代の特色への多面的・多角的な考察に導いています。</p>
多面的・多角的に構想する未来に向けて		286 ~ 287	1	<p><u>イ (ウ)</u> 今後の社会の在り方を考えるうえで、社会的な課題の歴史的な経緯を、それまでの学習で鍛えてきた「歴史的な見方・考え方」を働かせて多面的・多角的に考察・分析させることで、歴史的分野の学習が社会的な構想に役立つことが実感できるようにしています。</p>

予備8
合計
135